

特定非営利活動法人 九州海外協力協会



「ふるさと」との素晴らしい再会

6月9日から約2ヶ月間、ブラジル日系3世の香山イサム氏をJICA研修生として受け入れています。香山氏の祖父母(1世)の出身が福岡県と鹿児島県ということで、滞在期間中に是非親類の方々に逢って頂きたいと思って、各方面に連絡していたところ、研修先の鹿屋市で実現しました。

ブラジルと日本との時差は12時間、鹿児島県大隈半島在住の88歳とサンパウロ在住91歳のお二人がSkypeでビデオによる再会を果たされました。お二人とも年齢的に足が不自由で旅行は無理、当初は70年ぶりということで感情が昂ぶって話せなくなるのではと心配されていたのですが、その心配を乗り越えて、訥々ながら懐かしい表情で話をされました。私はそばでその様子を見ていて涙が出そうでした。アルゼンチナ丸で昭和7年12月17日に横浜を出港し、翌年2月3日にブラジルに入植された当時のご苦労を思うと、平和で便利な今の時代がとてもありがたく思えます。当会はこれからも日系の方々のサポートをしてゆきたいと思えます。

事務局長 丸田隆弘



田中職員退職のご挨拶

会員のみなさま

在職中は大変お世話になり、ありがとうございました。

あっという間の3年間でしたが、県外出身の私としては九州各県へ募集説明会などで赴くことができ、多くの方々とお会いする機会を得て、楽しい時間を過ごすことができました。3年前はまだ派遣先から帰国して1年経っておらず、自分の経験をどのように生かしていくことができるのか明確ではなかったのですが、JOCA九州にいる間に体験談や、募集説明会での対応を通して、興味を持っているの方々への小さなお手伝いをすることができたかなと思っています。

縁あって福岡に残ることになりましたので、今後もOBの1人としてJOCA九州のお手伝いをしていきたいと思えます。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



田中 雅史

着任の挨拶 (4月より)

今年度4月よりJOCA九州八幡事務所勤務しております橋口恵利子と申します。JICAボランティアでは青年海外協力隊でボリビア(18年度1次隊・視聴覚教育)、シニア海外ボランティアでエルサルバドル(23年度4次隊・番組制作)と経験させていただきました。

地元・九州でまた国際協力に携われることを大変うれしく思っております。これからもどうぞよろしくお願いたします。 橋口恵利子



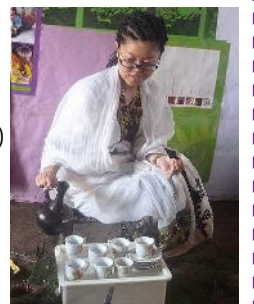
着任の挨拶 (6月より)

皆様、初めまして。

6月より田中職員の後任として博多駅前の事務所にて勤務しております古泉志保(こいずみしほ)と申します。

23年度1次隊の村落開発普及員としてエチオピアで活動してきました。

九州は初めてで分からないことだらけですが、どうぞ宜しくお願いいたします。



古泉 志保

ブラジルからの研修生

局長からの挨拶にもありましたが、ワールドカップで盛り上がるブラジルから、香山イサム氏が博多事務所に来ており、毎日様々な場所に出かけてたくさんの方の事を吸収しています。

そんなイサム氏に自己紹介と意気込みを書いてもらいました！

日本語はかなり上手ですが、やはり読み書きは少し難しい様子。しかしせっかくなので原文のまま載せてみます！

私は香山イサムと申します。
ブラジルのサンパウロからまいりました。
お世話になります。
だいがくではかいけいとけいざいをべんきょうしました。
あと、だいがくいんにもいって、けいえいせんりやくもべんきょうしました。
私はEY (Ersnt & Young)というかいしゃでかいけいかんさをしています。
2005年にボランティアのうんどうをはじめました。
2009年にはせいねんぶのかいちょうになりました。
そして今はひょうぎかいのメンバーとしてかいちょうをサポートしています。
このけんしゅうの私のもくてきは日本語と日本のぶんかをたくさんおぼえること
です。
けんしゅうがおわるとき日本語でじょうずによんだり、はなしたりできるようになり
たいです。
そうすると日本語のあゆみや、NPOと日本のぶんかがわかります。
ブラジルにかえったらかんさのしごとと、ぶんきょうのかっどうにいかしたいです。
がんばります。



大洋州青年研修（大洋州混成 地方行政コース）



5月21日から13日間、福岡県・長崎県内で青年研修を行いました。参加国は、総勢18名のパプアニューギニア・フィジー・バヌアツ・キリバス・ニウエでした。研修員にとっては気候的にもちょうどよい時期となり、一人も体調を崩すことなく、無事に研修を終了いたしました。

期間中、福岡市総務企画局や福岡市環境局、福岡市選挙管理委員会の方々から行政の取り組みや公正な選挙への取り組み等について講義を頂戴しました。また、厚生労働省福岡労働局や福岡県高齢者支援課、福岡県子育て支援課の方々からは、雇用の維持や再就職支援・高齢者支援・子育て支援全般について、講義を受けました。その他にも、福岡県NPOボランティアセンターでは市民と行政の協働に関する取り組みを学び、福岡県市町村教職研修所では実際に自治体職員の方々を受講されていたスキルアップセミナーに参加させてもらい、貴重な経験となりました。自治体と学・民が連携している取り組みでは、九州大学学術研究都市推進機構の方々から幅広い取り組みについてお話を頂戴しました。

また、福岡県を飛び出して長崎県西海市を訪問させて頂きました。同市役所の方々からは熱烈的な歓迎を受け、西海市長である田中隆一氏からご挨拶を頂き、西海市で実際に行われている地域活性化の取り組みにも参加させて頂きました。その後、西海市汚泥再生処理センター、西海市市民環境部、オランダ村再生に向けた取り組み等、本当に幅広く多くの担当者から貴重な講義を頂戴しました。研修の終盤には、ホームステイを行い、様々な問題点やその改善策について実体験を元に深めることができました。

最終日には、研修員の立場から帰国後これまでに得た経験・知識をどの様に活かして行くか「アクションプラン」を作成し、発表を行いました。今回様々な立場の研修員が集まり、研修員同士の意見交換も活発に行われておりました。その中から出てきた各アクションプランは本当に素晴らしく、是非帰国後に各国で活躍して頂きたい！と強く思いました。

本当に多くの方に支えられ、無事に研修を終了することが出来ました。どうもありがとうございました。（武井）

続・命の水プロジェクト

前回の出張から早いもので4ヶ月がたちました。現在、プロジェクトを実施しているカンボジアのアンコールクラウ村では、管理組合リーダーのコム・キーさんが孤軍奮闘しております！私が帰国の際には「ひとりで何が出来るというの？」と不安げだったキーさんですが、そこはカンボジア男子！しっかり仕事をしています。現在は野菜の専門家の指示に従い、種まきや堆肥作りなどを中心に行っています。日々の業務状況はLINEを使って日本にレポートがやってきます。現在栽培中の野菜の様子は



もちろんのこと、嵐で隣の家が壊れた、雨がひどい、牛が侵入した... などなど、日々の様子が送られてきます。そしてたまに、自分の写真も送ってきます(笑)
 次回の出張では、水処理装置設置に向けて新たな管理組合員を雇用する予定です。
 7月のカンボジアは雨季の真っ只中。昨年は大雨でシェムリアップの街は冠水し、大きな被害が出ました。今年はそうならないように祈るばかりです。(河野)



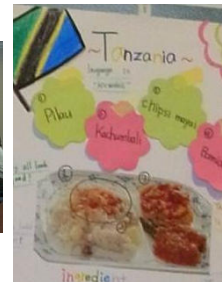
センター訪問で職場体験

JICA九州では開発教育(国際理解教育)の一環として、JICA九州国際センターを訪問していただき、協力隊の体験談や国際理解のためのワークショップ、世界の食事などを通じて、世界を身近に感じていただく“センター訪問プログラム”を実施しています。6月から7月にかけては中学性・高校生の職場体験として、当該プログラムを実施させていただきました。

高校生の職場体験では、実際に九州国際センターで行っている研修に参加して意見交換を行ったり、また中学生の職場体験では、館内掲示用のポスターを研修員向けに英語で制作してもらったりと、様々な業務を行ってもらっています。

職場体験終了後のアンケートには「研修員とJICAのスタッフの方々が家族のように話していることに驚いた」「協力隊の体験談を聞いて、自分もいつか参加してみたいな」「研修員を日本に呼んで技術を教えているのは本当にすごい」と、中学生・高校生は2日間の職場体験で多くのことを感じているようです。

これらの体験が世界に関心を持つ第一歩となっているようだったら、本当に嬉しく思います。(橋口)



遊びを通じた異文化理解 “クバーラ”

元々はマダガスカル遊びだったものに、隊員がルールを加え軽スポーツ化した“クバーラ”。現在、遊びを通じて異文化理解を図りたいという目的で、子どもから大人まで、様々な機関から、出前講座依頼を頂いています。

6月15日(日)は、福岡県福津市の津屋崎勝浦小学校校区子ども育成会へお伺いし、地域の交流イベントにてクバーラを実施しました。参加者は小学生から保護者の皆様まで、なんと総勢約100名！

まず私が協力隊体験談でマダガスカルの話をし、マダガスカルについて知ってもらい関心を持ってもらったところで、いよいよクバーラです。初めは、ルールもよく分からなかった子どもたちですが、次第にチーム内で声を掛け合うようになり、高学年が低学年をサポートする姿も見受けられました。自分本位だと点数が入らないクバーラ。クバーラを通じて、異文化を楽しむだけでなく、チームワークの大切さをも実感できたようです。



これから夏休みにかけて、多くの依頼を頂いているクバーラでの出前講座！暑い夏になりそうです。(佃)

研修員との交流

JOCA九州八幡オフィスが入るJICA九州には年間約1000名の開発途上国からの研修員がやってきます。日本の技術を学ぶため、朝から夕方までみっちり研修をしますが、来日後3日目くらいに、市民との交流をします。

このJICA交流プログラムは今年40件実施される予定です。様々な学校や施設で市民の方々と交流します。写真は柄杓田(ひしゃくだ)の小学校へ、「海上犯罪取り締まり」の研修員たちが訪問したときの写真です。一緒にゴミ拾いをし、港をきれいにしました。その後、一緒にダンスをしたり歌を歌ってもらったりして交流をはかります(^)子どもたちも研修員たちも一生の思い出になったことでしょう☆(米村)



高校生国際交流実体験プログラム

毎年恒例の『高校生国際協力実体験プログラム』が、今年は第一期8月6日(水)～8月8日(金)、第二期8月20日(水)～8月22日(金)の日程で、JICA九州にて開催されます。

今年は九州各県から、厳正なる選考の上選ばれた計19校の高校生たちが参加します。

7月から早速、各県の国際協力推進員さんたちが、参加校に事前学習に伺う予定になっています。

参加する高校生たちもきっとドキドキに違いないこのプログラム、初めて担当させていただく私古泉もドキドキです。

高校生たちの期待を裏切らないよう、しっかりと準備していきたいと思います！！



メール

料金後納
郵便

特定非営利活動法人九州海外協力協会

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館

2F AB号室

TEL: 092-415-6536

E-mail: ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

《特活》九州海外協力協会 ☆会員募集中☆

当協会では、活動に御賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「JOCA kyushuだより」をお送りさせていただいているほか、当会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。是非とも、宜しく願い致します。

※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

JOCA Kyushu ブログ

スタッフが日々の業務やそれぞれの日常を徒然なるままに綴っております。お時間のあるときにぜひご覧下さい。毎週水曜日更新！コメントお待ちしております！

<http://blogs.yahoo.co.jp/jocakyushu/MYBLOG/yblog.html>

《編集後記》

5月いっぱいまで田中職員が離任し、JOCA九州レターも後任の古泉が担当しております。どうぞ宜しくお願いします。

着任してから、大洋州の青年研修、日系ブラジル人研修、高校生国際交流実体験プログラムの準備、秋からの募集説明会の準備など盛りだくさんです。

暑い夏になりそうです！

発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-10-34

Mビル3号館 2F AB号室

TEL: 092-415-6536

FAX: 092-415-6518

HP: www.joca-kyushu.or.jp/

E-mail: ngoqshuint@joca-Kyushu.or.jp

